



校長室だより

令和5年度

4月20日

NO. 2

季節とともに 「ふるさと学習」

24節気の6番目の「穀雨」(穀物を育てる優しい雨が降るころ)となり、山々の「若葉もえる」季節となりました。朝、交通安全のため歩いていても、さわやかな空気を味わうことができ、春の深まりを感じます。暦の上でも晩春になり、次第に夏に移行していきます。「若葉もえる」は5月の時候ですが、秦梨の山々はすでに「若葉萌える」季節を迎えています。(最近まで「若葉燃える」だと思っていました)

14日(金)には、河合中学校の「ホタル放流式」が行われ、4年生のみんなが参加しました。一人一人が、カワニナとホタルの幼虫を放流しました。放流式で来賓のみなさんが言われていましたが、こうしてホタルを守っていくことは、蛍が育つ環境を守ることになります。すなわち、秦梨の自然を守ることにもなっていきます。19日(水)には、漁協さんのご協力で、学校前の乙川に、4年生が若鮎の放流を行いました。一人一人、十数匹のアユを川に放つと、10センチ強の若鮎は、元気に川へと泳ぎだしていきました。水流に逆らって泳いでいくアユはこのあと、上流へ旅立っていくのでしょうか。アユが住める川は、やはり清流でなくてはなりません。自分たちで放ったアユが元気に成長できるよう、私たちも今の環境を守っていきたいです。このような自然・生き物にふれあう体験ができるのは、やはり秦梨ならではのです。



また今年も、小学校で「ふるさと学習」を行っていきます。米作りは、平成13年ころから、地域の方から田んぼをお借りして、田植えや稲刈りなど、「田の先生」の先生のご指導のもと、続いています。また、夏には里山の整備、冬には炭焼き体験も行っています。山仕事には、「山仕事サポーター」の先生に、教えていただき活動を行います。本年度も「田の先生」と「山仕事サポーター」には、次の方をお願いしてあります。

「田の先生」

鈴木 清美 様

早川 健 様

「山仕事サポーター」

鈴木 宣行 様

川澄 善久 様

「ふるさと学習」は、実際に体験することで、仕事の大変さを自ら感じるとともに、自分たちの学区「秦梨」について考える機会になると考えています。活動を通して、さまざまな発見をするとともに、昔の人や地域の伝統や技に感動を味わえるとよいと思います。自分から、地域にかかわっていきける、そんな子になれるとよいと思っています。